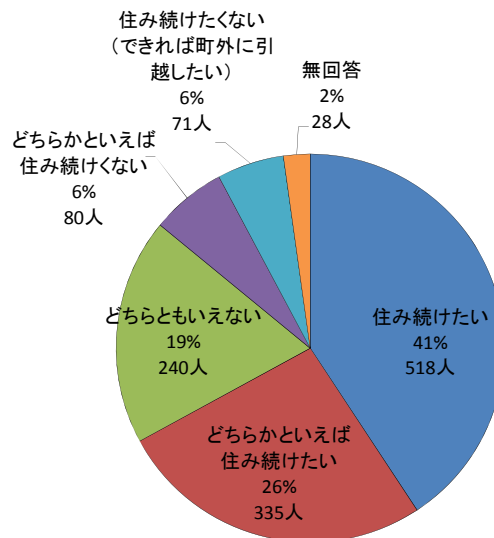


### 3) 今後の居住意向【問5】

#### ◆単純集計

「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」の合計値が67%と高く、**住みたいと感じている人が多い傾向**にある。

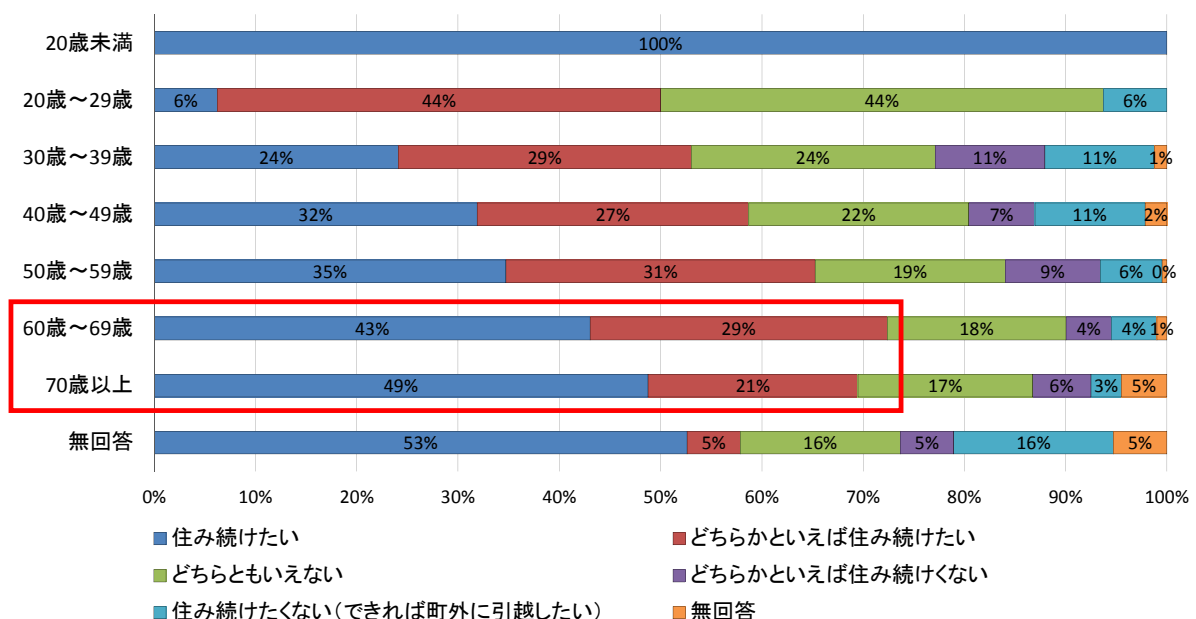


#### ◆クロス集計【年齢×居住意向】

年齢別に見ると、全ての年代で「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」が多くなっているが、特に、高齢者ほど「住みたい」と感じている人が多い傾向にある。

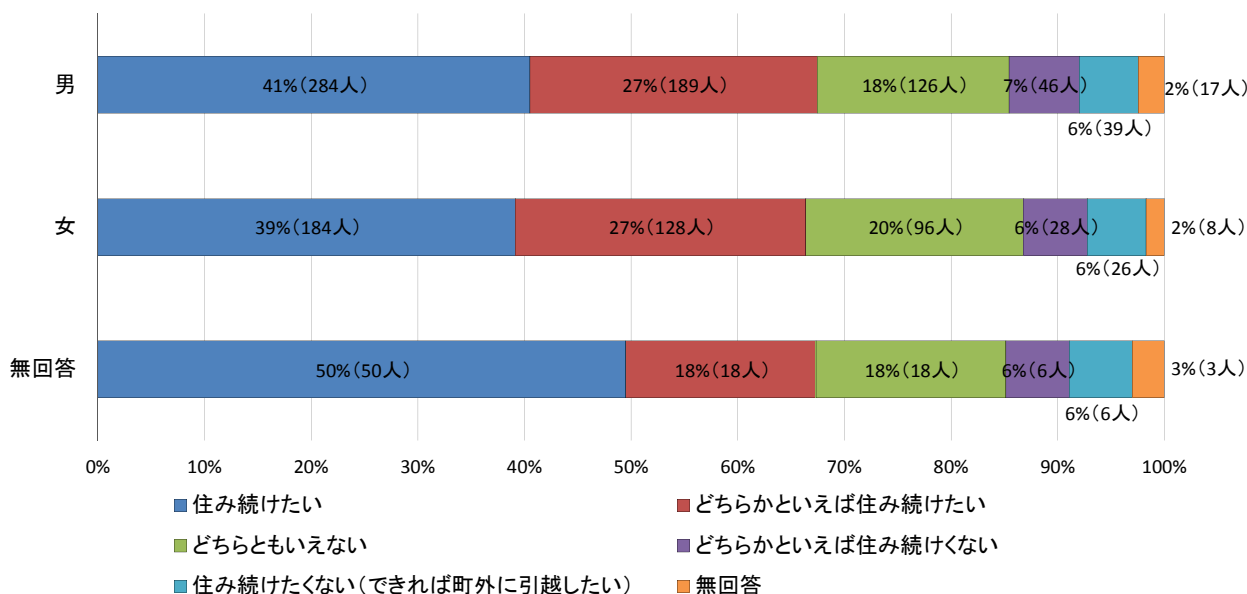
(単位:人)

	住みたい	どちらかといえば住みたい	どちらともいえない	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない(できれば町外に引越したい)	無回答	計
20歳未満	1	0	0	0	0	0	1
20歳～29歳	1	7	7	0	1	0	16
30歳～39歳	20	24	20	9	9	1	83
40歳～49歳	44	37	30	9	15	3	138
50歳～59歳	74	65	40	20	13	1	213
60歳～69歳	173	118	71	18	18	4	402
70歳以上	195	83	69	23	12	18	400
無回答	10	1	3	1	3	1	19
計	518	335	240	80	71	28	1272



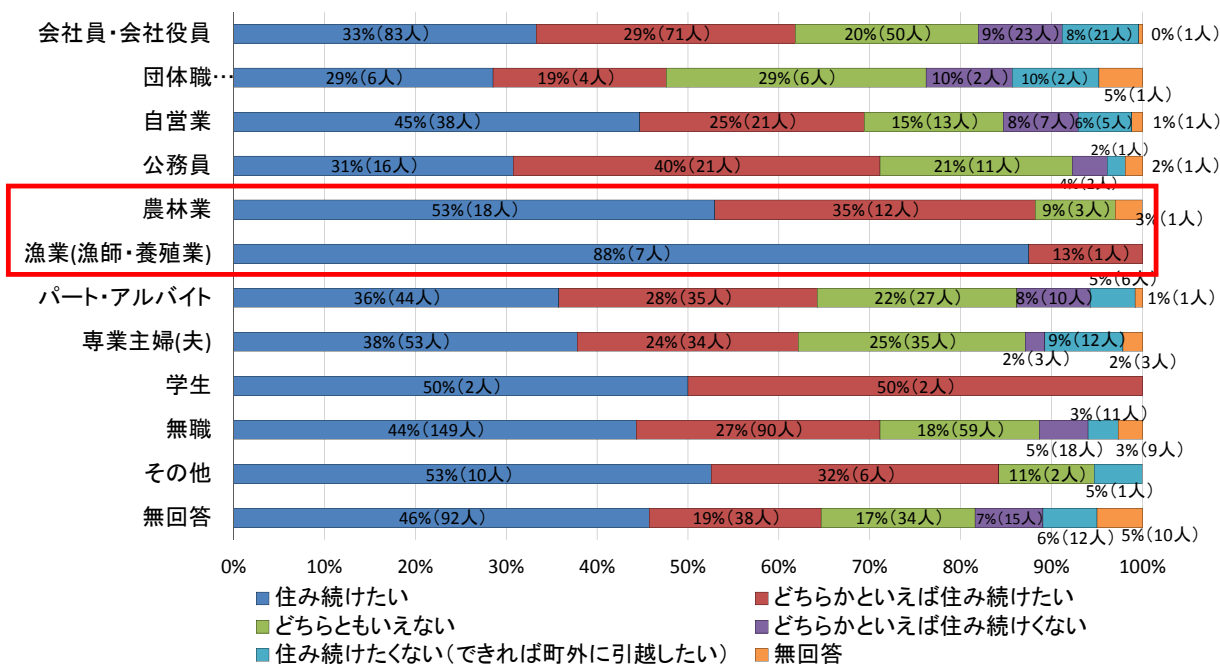
### ◆クロス集計【性別×居住意向】

性別で見ると、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」の合計値が男性(68%)、女性(66%)とも多くなっており、性別では有意な差は見られなかった。



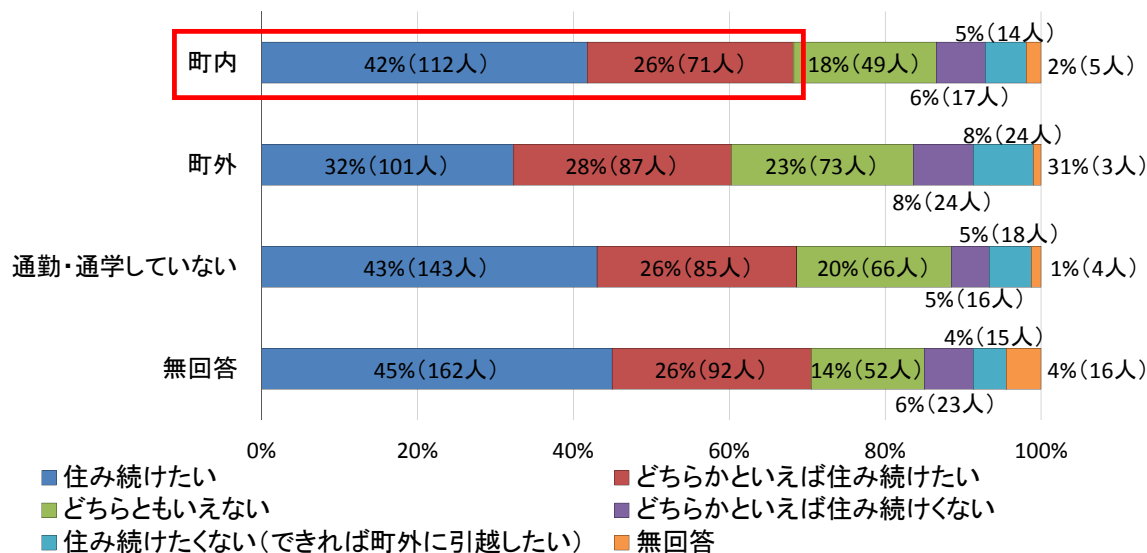
### ◆クロス集計【職業×居住意向】

現在の職業別に見ると、全ての職業で「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」の合計値が多くなっているが、特に、漁業(漁師・養殖業)(100%)、学生(100%)、農林業(88%)、公務員(71%)、無職(71%)などが高く、**第一次産業従事者は住み続けたいと感じている人が多い傾向にある。**



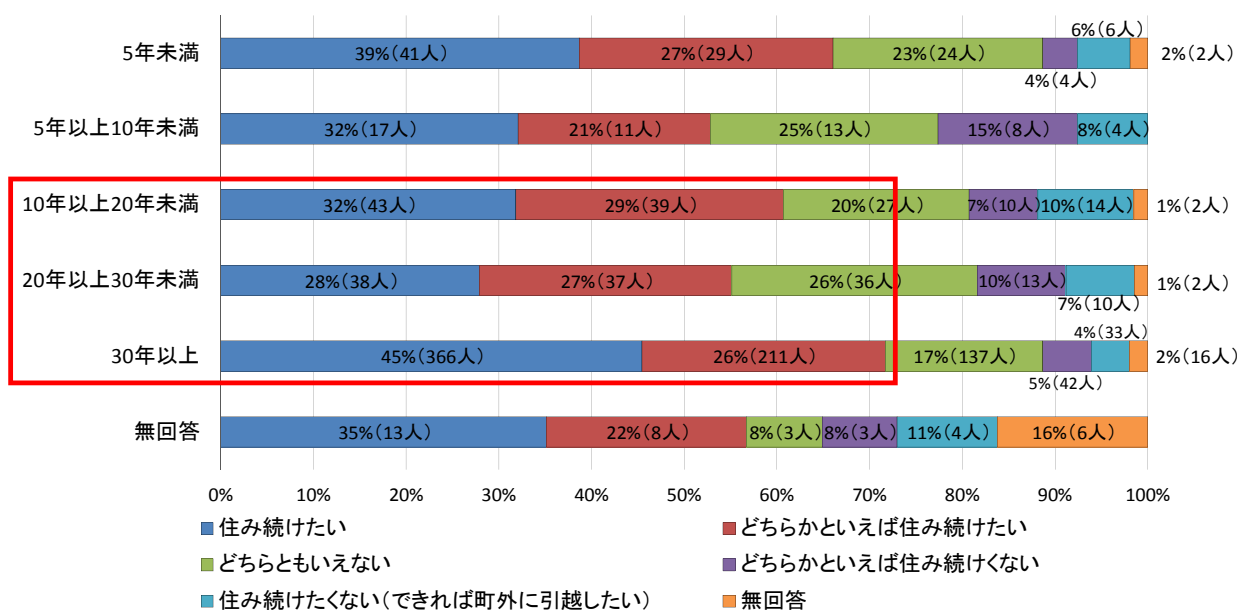
◆クロス集計【通勤・通学先×居留意向】

通勤・通学先で見ると、全ての通勤・通学先で「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」の合計値が多くなっているが、特に、町内(68%)が町外(60%)に比べて高く、町内に通勤・通学している人ほど住み続けたいと感じている人が多い傾向にある。



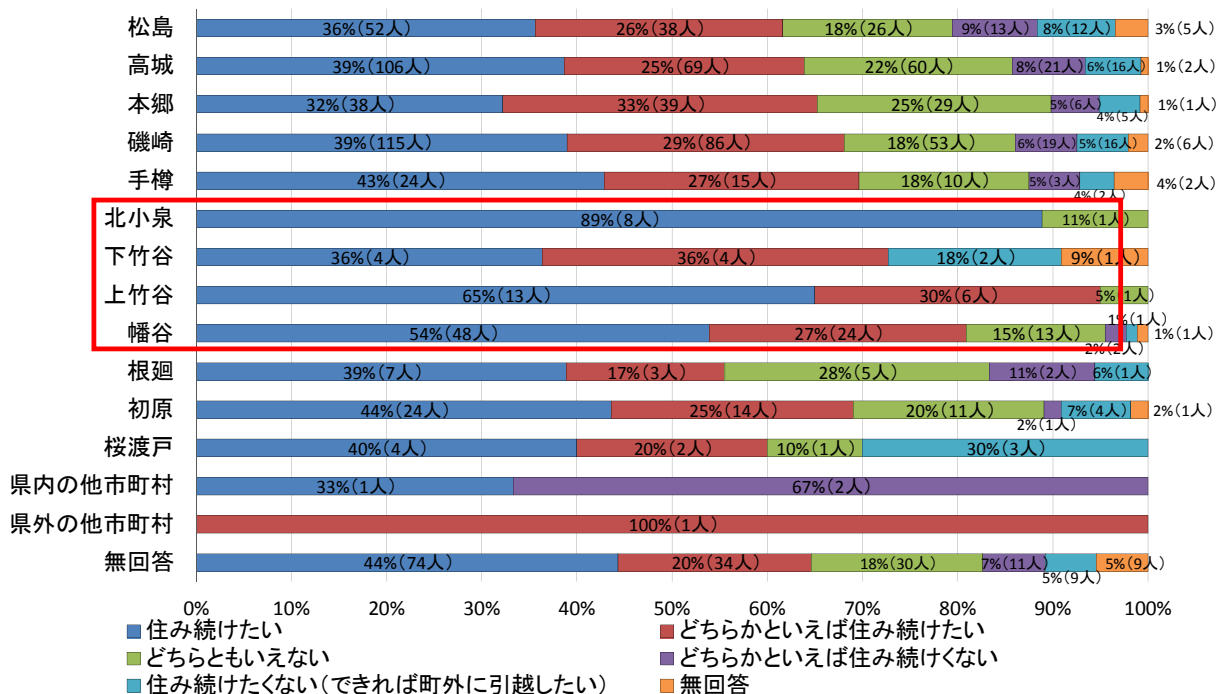
◆クロス集計【居住年数×居留意向】

居住年数別に見ると、全ての年数で「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」の合計値が多くなっているが、特に、30年以上(71%)、10年以上20年未満(61%)、20年以上30年未満(55%)などが高く、居住年数の長い人ほど住み続けたいと感じている人がやや多い傾向にある。



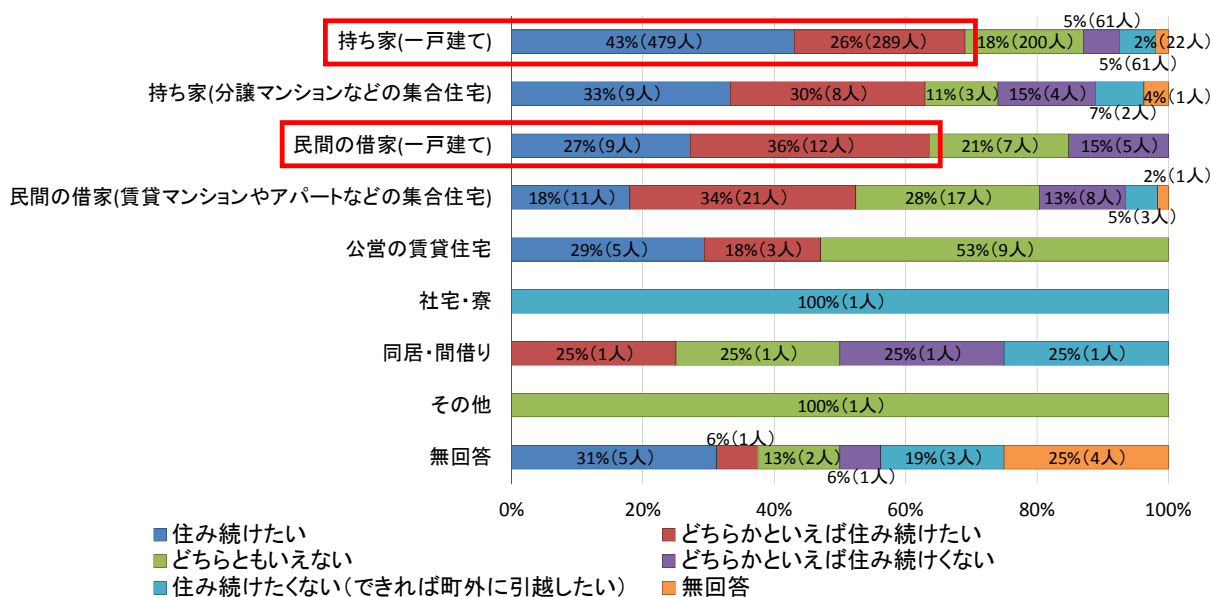
◆クロス集計【居住地×居住意向】

居住地別に見ると、全ての地域で「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」の合計値が多くなっているが、特に、上竹谷(95%)、北小泉(89%)、幡谷(81%)、下竹谷(72%)など、北部地域の人は住み続けたいと感じている人が多い傾向にある。



◆クロス集計【住居の種類×居住意向】

住居の種類別に見ると、全ての種類で「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」の合計値が多くなっているが、特に、持ち家(一戸建て) (69%)、民間の借家(一戸建て) (63%)、持ち家(分譲マンションなどの集合住宅) (63%)などが高く、**一戸建てに住んでいる人は住み続けたいと感じている人が多い**傾向にある。



◆クロス集計【家族構成×居住意向】

家族構成別に見ると、全ての構成で「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」の合計値が多くなっているが、特に、三世代(親・子・孫など) (78%)、自分(たち夫婦)と親 (68%)、夫婦のみ (68%) などが高く、**親と同居している人は住み続けたいと感じている人が多い**傾向にある。

